

市内211例目（県内369例目）の概要

令和3年5月8日公表

5月7日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内211例目（県内369例目）となる感染者が確認されました。

居住地及び発症日、症状につきましては、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

年齢・性別につきましては、本人の意向により公表を差し控えさせていただきます。

5月3日に38度台の発熱、咽頭痛、頭痛、倦怠感、咳の症状があり、自宅で静養されていましたが症状が改善しないため、7日に市内の医療機関を受診。PCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

昨日、感染症対策を講じた県内の医療機関に入院されました。

発症日2日前、5月1日以降の感染可能期間に仕事や不特定多数への感染の恐れがあるような行動歴はありませんが、県外への移動歴がありました。現時点で聞き取り調査により接触者は把握できています。

発症日2週間前、4月19日以降の期間において、仕事で県外への移動歴がありました。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

さて、大型連休も終わり、県外との人の往来が原因と思われる感染事例が継続的に確認されています。もしも発熱や咳などの体調不良を感じられた場合には、まず休んでいただくことが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

また、家庭内にあっても、部屋を分ける、換気する、マスクをつけるなどの基本的な感染予防策をとるよう注意しましょう。

そして自己判断せず、すぐにかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万々に備えた対応をお願い申し上げます。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みに引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。